

# パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2009年6月1日

69号



野焼きの火がレダの基地の近くまで延焼する（2009年4月23日飯野氏撮影）

釣り人か狩りの人か、誰かが火を付けて一週間以上燃え広がり続け、ボート・ヌエボから公館前の支流までおよそ十km×五kmに及ぶ範囲でほんどのが焼き尽くされました。地面にまだ熱さの残る現地に立つてみると、ヤシの木は幹が黒こげ、草や雑木は燃え落ち、一面焼け野原でした。

国際的に地球温暖化が叫ばれ、パラグアイでもやつと数年前から環境破壊に通ずる野焼きが法律で禁止されるようになつたと伺つてますが、こうした僻地では誰も取り締まる人がいません。

とりわけ今年は例年にならない勢いで炎と煙がバチバチといふ音を立てて風下の基地に向かつてどんどん近づいて来た時には緊張を覚えました。消防車はなく、消防手段もバケツや家庭用消火器だけでは、この火勢に對して全く无力です。

そんな中でも焼け跡には、早くも若い草の芽が3cmほど伸びて来ているのを発見した

今は連日の大量の灰も降つて來ることも無く、自然の逞しさと生命力に感動を覚えました。

再び自然の世界に平和が訪れています。

（レダより飯野氏報告）



モリンガの花真っ盛り！  
二ームの木と共に当会が力を  
入れて植樹している木がこの  
モリンガですが、白い可憐な  
花がモリンガ林全体を覆い、  
碧い空に揺れています。  
この林の中に  
鳥のさえずりを聴きながら  
平和と幸せを感じます。



モリンガの花真っ盛り！  
二ームの木と共に当会が力を  
入れて植樹している木がこの  
モリンガですが、白い可憐な  
花がモリンガ林全体を覆い、  
碧い空に揺れています。  
この林の中に  
鳥のさえずりを聴きながら  
平和と幸せを感じます。



秋の訪れが忍び寄る三月頃から  
日照りが続き、さすがの逞しいブー  
ゲンビリアも花を落とし、緑の  
葉だけがしばらく続く日々でした。  
そんなわけで五月に入つて十三  
日までに少しづつ四回も秋雨の  
恵みを受け、一気に花を呼び戻し、  
今やブーゲンビリアの花真っ盛  
り！です。蝶や  
蜂や小鳥たちだけではなく私達に  
ことつても天国は  
このような花園  
だろうと思わせ  
るほど心に喜び  
を与えます。



五月一日は、労働者の為の祝日  
日頃の彼らのご苦労に感謝を  
込めて、一頭の牛をほふつて  
アサド（南米流焼き肉）をして  
ました。牧童達が率先して炭  
火で棒に刺した肉を見事に焼  
きあげ、私達がその肉を食べ  
やすいサイズに切つて、皿に  
盛り上げ各自に渡します。  
お代わり自由ということで、  
肉を腹いっぱい食べて、誰も  
が大満足です。



警察官も海軍さんも一緒です。  
一皿でも食べきれないという  
私たちとは大違いです。この  
活力がある炎天下汗して働く  
パワーを生み出すのでしょうか。  
タナール地方レダ開拓も満十年を迎え  
ます。十年の開拓の歴史を記念し、  
レダ現地にて開拓十周年記念し、現地  
訪問ツアーやを計画しています。  
現地に記念植樹をした方も自身の記念  
樹の成長を確認する良き機会になります。  
詳しくは来月号のパンタナール通信にて  
発表します。

牧童小屋完成間近！  
支流奥地 6 km に通ずる道が作られ、そこに牛を集める囲い柵が作られたことは、既に報告して来ましたが、その傍に牧童小屋がケブラツチヨとパルマ（ヤシ）の木で造られました。牧童達も仕事がしやすくなると喜んでいます。もうすぐ完成ですが、既に建設請負の人々が、連れて行つた茶色の猫が小屋の土間の真ん中で気持ち良さそうに寝ていました。



柴沼事務局長、パラグアイ訪問。

今年の国際協力青年奉仕隊の具体的な活動を決定するため、インディヒナ、ディアナ村の学校関係者と打ち合わせをしました。また、エステ市近郊で植林活動も計画しており、その調査のため、四月十五日から二十七日まで滞在しました。

ディアナ村を訪れる前に昨年、第八回青年奉仕隊が植樹を行ったエスペランサ村を訪問し、植えた二メートルの樹の成長を見て来ました。

昨年、九月の初めに植えた時は三十㌢ほどの苗木でしたが二メートルを越し、葉ぶりも豊かで、メイン通りの景観を変え、学校の校庭により良き、勉学の環境を作り出していました。

エスペランサ村の訪問の後、今年、行うディアナ村に行き、ディアナ村の学校長、そして村の役員の方と今年の青年奉仕隊の植樹場所を決定し、

彼らが来る前の準備について、 ASNシヨンから同行してくれた、現地法人、南北米福地財団の佐野副会長とともに話し合いを持ちました。

今年も昨年のエスペランサ村の成功を土台に私達がディアナ村に寄贈した学校の周りに植樹をし、子供達の勉学を促進できる環境作りをするとともに村のメイン通りに植林することになりました。

二〇〇九年国際協力青年奉仕隊  
(八月二十五日 九月十日) の活動計画  
ディアナ村植樹ならびにエステ市での植林  
(五千本計画)

エステ市にある州議会の事務所を訪ね、環境問題を扱う二人の州議会議員に地域の森林伐採を行った国との統計が出ているので、森林の再生には協力をお願いする。パラグアイは過去、世界的に見ても国土の大きさに比較し最も森林再生の状況を聞き、今年の青年奉仕隊の活動計画を報告し、

人間の州議会議員に地域の森林伐採を行った国との統計が出ているので、森林の再生には協力をお願いする。パラグアイは過去、世界的に見ても国土の大きさに比較し最も森林再生の状況を聞き、今年の青年奉仕隊の活動計画を報告し、日本からの青年達の植林活動には大きなインパクトがあると期待されている。



ディアナ村小学校の校長と

エステ市郊外に南北米福地財団が育苗所を一年前より始め、現在、三千本の苗木が育っています。今年の青年奉仕隊はパラグアイ東部地域に位置し、西部チャコ地方と違い、土壤が豊かで、以前は森林地帯であったが大規模農業により、森林が破壊されてきた。土壤は豊かな養分が含まれており植林活動を進めれば大きな成果が期待できる地域です。今年の青年達の活動に御期待ください。



# 第九回国際協力青年奉仕隊 参加者募集六月十五日まで!

期間 ○九年八月一五日 九月十日

活動地域 パラグアイ国 レダ近郊

活動内容 インディヒナ村 植林、文化交流、エコツアーレダ近郊

参加資格 一八歳一一五歳

参加条件 小論文 (参加の動機及び将来の夢)

応募人数 八名 参加費用 十五万円



青年奉仕隊の活動は皆様の支援で行われてきました。第九回青年奉仕隊も皆さまで来ました。左記の口座に本年もよろしくお願いします。本年は一昨年、昨年と行ってきた植林活動をレダ近郊のティアナ村と東部エステ市近郊で行います。

郵便口座

一〇一八〇一

代表 柴沼邦彦

七七六八〇四七一

支援のお願い

一家庭に眠つている未使用的切手、はがき、印紙などがありました

事務局に送つてください。



## 第9回ピースライフセミナー開催

5月4日5日



川崎市民プラザにて70名余りの方が参加

『今回、セミナーにて、パンタナールの話が聞けてとてもよかったです。いつか南米に関係するものにかかわっていきたいと思っていたのでとても心がおどりました。(十六歳)』  
『理論を語るだけではなく、実践を通して文化が漫透していく、という話に非常に感銘を受けました。また、モリンガやニームの持つ驚異的な力を聞き、全て準備されているのだな、と感じました。これは、私たちだけに止めておくべきでなく、もっともっと広げていくべき内容だと思いました。私ができる取り組みを考え、今まで実践していきたいと思います。(三十二歳)』  
『協会の活動を知り、10年間のレダの苦労が現地で実っていることを知りました。先輩の方々の苦労が大きく花開いていることに心から感動しました。日本の地にて植樹の協力も今までより以上に続けていきたいと思います。これからも南北米福地開発協会の為に精一杯、協力していきたいと思います。(五十六歳)』

## 南北米福地開発協会六月度の予定

環境セミナー  
六月二十一日 南北米事務局にて  
(費用 二千円資料代含む)

南北米福地開発協会会員の募集  
南北米、パラグアイパンタナール地域への植林活動を通じて生態系の維持と強化を促進し、その地域をモデルとし、世界に環境保護の大切さを訴えています。会員は月五〇〇円、毎月、パンタナール通信を送ります。また、各種のセミナーの案内をいたします。

## 南北米福地開発協会 事務局

〒二二二三一〇〇〇一  
神奈川県川崎市高津区溝口二二一一一十五

岩崎ビル四F

電話

〇四四一八一九一一八二一

Fax

八一九一一八一一〇

会費納入

一〇一八〇一七七六八〇四七一

郵便口座

八一九一一八一一〇

ホームページ

http://www.asd-nsa.jp

第九回国際協力青年奉仕隊への参加希望者は事務局に連絡し、所定の書類を受け取ってください。六月十五日までに参加希望者の小論文と履歴、そして紹介者の推薦文を添えて事務局に送ってください。六月十六日に参加者の発表を致します。